

平成22年7月9日

貧酸素水塊速報 (2010年)

[発行] 千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

[協力] 神奈川県水産技術センター
千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部
国立環境研究所

内湾底びき網研究会連合会
東京都環境局
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成22年7月6日観測結果

内湾北部から湾奥にかけての広い海域で溶存酸素量が1ml/L以下を示し、強く貧酸素化していました(図1)。また、図中黄丸の観測点では底層水が硫黄臭となっていたので、青潮を引き起こす硫化物が生成、蓄積されている模様です。貧酸素水塊の規模は、引き続き例年より高めで推移しています(図3)。

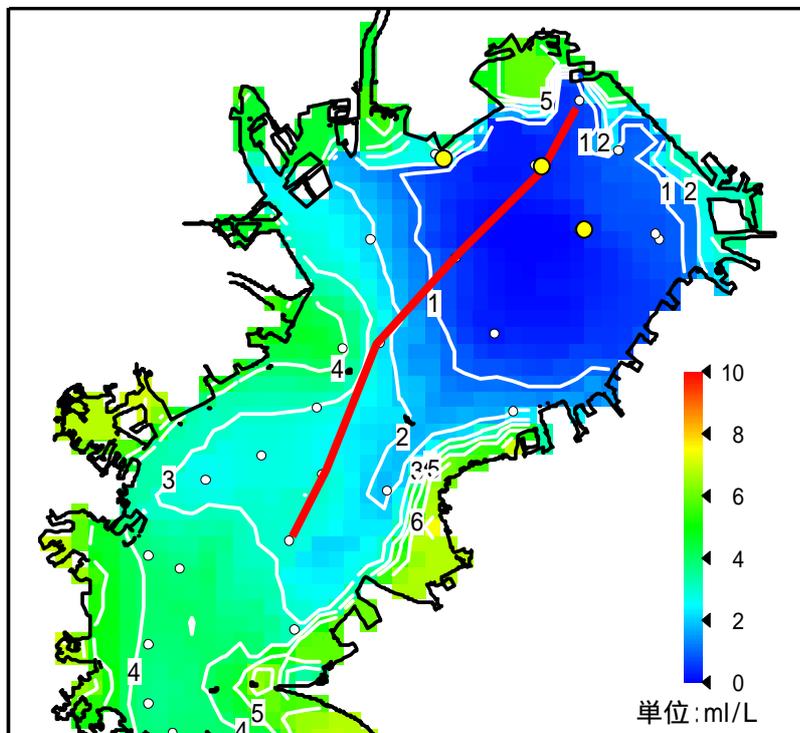


図1 底層の溶存酸素量の分布 (赤線は縦断ライン)

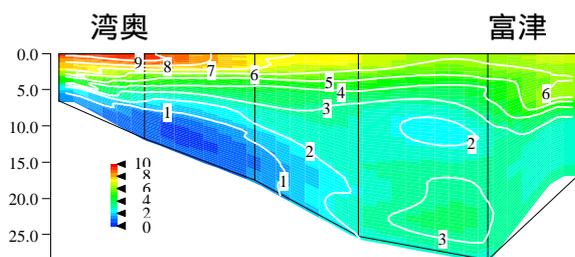


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

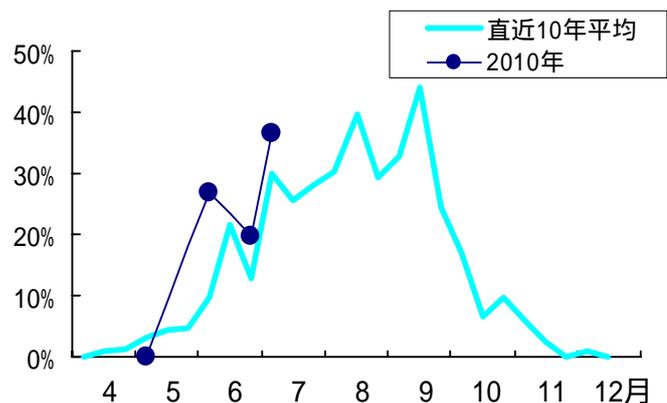


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)